



ベルンドルフ市

【位置】

オーストリア共和国の首都ウィーンから南南西に約50キロメートル

【緯度】 北緯47度

【人口】 約9,000人

【面積】

17.57平方キロメートル(大迫町亀ヶ森地区よりやや小さい)

【日本との時差】

8時間(夏時間では7時間)



▲銀食器



▲ベルンドルフ市民劇場

**ベルンドルフ市って
どんなところ？**

ベルンドルフ市は、アルプスの美しい山々に囲まれた都市です。日本からは、成田空港からウィーン国際空港まで約14時間、そこから車で約1時間で行くことができます。

日本と同じく四季があり、景色の変化で季節を感じられます。気候は温暖ですが、緯度が日本最北端の地「宗谷岬(北海道)」「北緯45度」よりも北に位置しているため、冬の寒さは

ベルンドルフ市の魅力

本市よりも厳しくなります。

ベルンドルフ市は、12世紀頃の記録にもその名前があるほど歴史のある都市で、築100年以上の家が多く残っています。明治31(1898)年に完成したベルンドルフ市民劇場は、当時をしのげる美しい劇場であり、市の宝として市民から愛され続けています。

代表的な産業の一つは銀食器で

これまでの交流

昭和41(1966)年に大迫高校生1人と親善登山隊10人をベルンドルフ市へ派遣したのを皮切りに、交流が本格的に開始。市内中学生と大迫高校生を派遣する青少年海外派遣研修、ヨーロッパの中等教育機関であるギムナジウム校生の受け入れなど、青少年の相互理解に力を注ぐ一方、登山やスキーでの交流、ワイン留学生の派遣や郷土芸能の紹介など、地域の風土に根差した幅広い交流を行ってきました。

5年ごとに記念式典が開催され訪問団が相互に訪問していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で、令和元年度より4年度は訪問などの直接的な交流を行えず、記念式典

す。19世紀半ばにドイツ出身のクルップ家がベルンドルフ市に金属洋食器工場を建設し、発展しました。この銀食器は、現在も国内外で愛用されています。近年はステンレス製品にも力を入れており、こちらも国内外で注目を集めています。

もう一つの代表的な産業は松やんです。音楽の都であるウィーン同様、ベルンドルフ市でもクラシック音楽が日常的に演奏されており、松やには弦楽器の弦に塗布するためによく生産されています。そのほか、香料や薬品にも使用されています。

も開催できませんでした。しかし、両市の交流は途絶えることはなく、令和5年度から青少年海外派遣研修事業など直接的な交流を再開したほか、ベルンドルフ市から訪問団10人とギムナジウム校生らを迎え、思い出を語り合うとともに友情の継続を確かめ合い、友好への思いを新たにしました。

本年10月には、本市から市民訪問団がベルンドルフ市を訪れ、記念式典に参加する予定です。



ベルンドルフ市・花巻市 友好都市提携60周年



オーストリア共和国ニーダーエスタライヒ州ベルンドルフ市と旧大迫町が、友好都市提携を結んでから60年。これまでの交流の歩みや、予定している記念事業、両市民からのメッセージなどを紹介します。



二つの花から始まった 交流

ベルンドルフ市との交流は、本市が提携している国際姉妹友好都市の中で最も古く、全国的に見ても長い歴史があります。

早池峰山固有のハヤチネウスユキソウと、オーストリアの国花でヨーロッパアルプスに咲くエーデルワイスがよく似ているという、花が取り持つ縁で、昭和40(1965)年10月12日、旧大迫町とベルンドルフ市は友好都市提携を結びました。

平成18(2006)年1月1日には、旧1市3町の合併により、新・花巻市が誕生し、同年11月23日に新・花巻市とベルンドルフ市との間で、提携継続の調印が結ばれました。



▲エーデルワイス



▲ハヤチネウスユキソウ